

(4) 川原のレキを調べる。

川原のレキや砂の積もり方が平均している所を選んで、1 m四方の方形枠を置く。

この方形枠内に入っている、長径5 cm以上のレキをすべてビニルシートに取り出す。(表面に見えているレキのみ)



① 大きさを分ける。

レキの大きさによって、5～10 cm, 10～15 cm, 15 cm以上に分け、その数を調べる。

② レキの形を調べる。

レキの形を、まるい石、ややまるい石、角ばった石の3つに分け、その数を調べる。

③ 川原のレキの大部分は、安山岩で、他に白っぽい流紋岩や花こう岩が見られる。このことから、釈迦堂川の上流の山地は、花こう岩や、火山活動で噴出した安山岩・流紋岩等からできていることが推定される。

④ これらの川原のレキは、どのようにして、いつ、運ばれてきたのか話し合う。

⑤ 調べた結果を表にまとめる。

大 き さ (cm)			形			種 類		
5～10	10～15	15以上	円	垂 円	角	流紋岩	安山岩	花崗岩
23	17	7	5	30	12	6	38	3
49 %	36 %	15 %	11 %	64 %	25 %			

学校より10 km下流の広戸小学校の資料と比較して、レキの大きさの変化、レキの形の変化を考えさせることによって、流水のはたらきの理解が一層深まります。